

高校生のネット上の出会いの起点となるサービスの調査 ～全国および神奈川県の実態調査より～

田代 光輝† 小松 正† 浅子 秀樹‡

多摩大学情報社会学研究所† LINE 株式会社‡

1. 調査概要

インターネット（以下：ネット）による未成年の誘い出し被害や、いじめの予防のため、北海道・宮城・東京・大阪・福岡の8校の高校生にパネル調査（有効回答数 1,017 人）を 2018 年度（以下：RIS 調 18）と 2019 年度（以下：RIS 調 19）の 2 回、及び、神奈川県の高中生にアドホック調査を 2018 年度（有効回答 5,573 人・以下：神奈調 18）に行った*注1（以下、調査全体を本調査）。本調査結果から、高校生の多くがネットでの出会いを経験している実態が明らかになった。ネットでの出会いのうち 67.6%は高校生同士であるが、大学生や社会人も 16.9%、不明が 9.9%あり、誘い出しのリスクにつながっていると考えられる。

2. 未成年のネット利用拡大に伴う社会課題

ネットの未成年の普及が進むことにより、ネットの出会いの増加している。またそれに伴い、誘い出しの事件も起きている。近年は、大阪で小学5年生の少女が誘い出され栃木県で監禁される事件 [朝日新聞 2019] 等、犯罪被害等も増加している。

警察庁の調査 [警察庁 2019]によれば、2018 年度の SNS を起因とする被害未成年数は合計 1,881 人となっている。被害者は小学生 55 人、中学生 624 人、高校生 991 人、その他 141 人で、利用サービスは Twitter が 718 人、ひま部が 214 人、LINE が 80 人、マリンチャットが 78 人、ツイキャスが 46 人、その他が 675 人となっている。

その他、関連する調査・研究として警察庁による各種調査 [警察庁 2019-a] や、LINE による調査 [LINE2019] 等がある。

これら課題を解決するため、全国及び神奈川県の高中生への調査を通じ、ネットでの出会いの課程を明らかにし、関係機関・企業等の予防・対応を促し、被害軽減につなげたい

3. RIS 調 18 と RIS 調 19 の調査結果

3.1. ネットの出会いと誘い出しの現状

表 1 は、RIS 調 18 と RIS 調 19 の「Q23 この一年間に、スマートフォンや携帯電話で利用できるサービス (LINE や Twitter など) を使っていて、このようなことはありましたか」のうち「⑧ 同じ趣味の友達を得ることができた」への回答の比較である。ネットを利用することによって、同じ趣味の友達を得られる割合は 18 年で 62.5%、19 年で 57.2% となっており、高校生の過半数がネットでの出会いを経験している。

表 1 RIS 調 18 と RIS 調 19 の Q23⑧への回答

同じ趣味の友達を得ることができた	2018 年	2019 年
この 1 年間に経験していない	37.5%	42.8%
LINE	18.1%	9.6%
Twitter	26.9%	20.6%
Instagram	12.1%	20.7%
その他	5.4%	6.3%
解答数	989	1,006

3.2. 知らない人から「会いたい」というメッセージを受ける割合

表 2 は、RIS 調 18 と RIS 調 19 の、Q34 「あなたは、この 1 年間に、以下にあてはまることかをされたことがありましたか」の「⑥ 知らない人から会いたいというメッセージがきた」に対する回答割合である。メッセージがきた割合は 18 年が 16.1%、19 年が 12.0% で、18 年度は LINE が 6.3% で 1 位だが、19 年度は LINE の割合は減り、Instagram が 4.7% と 1 位となっている。

表 2 : 2018 年 RIS 調 18/19 : Q34⑥に対する回答割合

会いたいというメッセージがきた	RIS 調 18	RIS 調 19
この 1 年間に経験していない	83.9%	88.0%
LINE	6.3%	3.6%
Twitter	5.5%	3.0%
Instagram	2.1%	4.7%
電子メール	1.0%	0.2%
その他	1.1%	0.6%
回答数	993	1,009

Investigation of services that are the starting point of high school students meeting on the Internet - From surveys in Japan and Kanagawa Prefecture -

† Tama university kumon center

‡ LINE corp.

4. 神奈調 18 の結果

4.1. 出会う人の属性

神奈調 18 の問 45「あなたがネットで知り合っ
て、最も親しくなった友達はどうな人です
か」を集計した(表 3)。

同じ学校の高校生(同)は 23.6%、別の高校の
高校生(別)が 44.1%となっており、67.6%が同
世代の出会いである。一方で、中学生(中)が
3.2%であるものの、大学生(大)が 7.0%、社会
人(社)が 9.9%となっており、双方合計で 16.9%
である。また、不明(不)も 9.7%であり、リスク
の高い出会いにつながっていると考えられる。

表 3 神奈調 18・問 43 の集計結果

同	別	中	大	社	不	他
23.6%	44.1%	3.2%	7.0%	9.9%	9.7%	2.0%

4.2. 出会うの属性毎の「きっかけ」のサービス

問 45 に対して、問 43「ネットがきっかけで知
り合った友達の中で、「最も親しくなった人」
と知り合ったきっかけのサービスはどれですか」
とをクロス集計した(表 4)。

同じ学校の高校生は Twitter(T)が 34.4%、
LINE(L)が 53.7%、Instagram(I)が 8.8%、その他
(A)が 3.2%となり、中学生と合わせて LINE 経由
が一番多い。一方で、大学生、社会人、不明、
その他(他)は Twitter(T)がそれぞれ 60.1%、
53.3%35.0%、35.7%や、その他(A)がそれぞ
れ 22.3%、32.4%、32.7%、39.3%と、Twitter とそ
の他が多い結果となった。

表 4: 神奈調 18・問 43 と問 45 のクロス集計

	同	別	中	大	社	不	他
T	34.3%	60.6%	29.9%	60.1%	53.3%	35.0%	35.7%
L	53.7%	17.9%	34.5%	13.0%	12.1%	29.3%	14.3%
I	8.8%	7.4%	8.0%	4.7%	2.2%	3.0%	10.7%
A	3.2%	14.1%	27.6%	22.3%	32.4%	32.7%	39.3%
計	648	1,212	87	193	272	266	56

*注 2 その他にはネットゲームが含まれていると推察される

友達の属性別の出会うツールを集計しなおす
と(表 5)、同じ学校の高校生と出会うツールは
Twitter が 34.3%、LINE が 53.7%、Instagram が
8.8%となっている。一方で「大学生」と「社会
人」と出会うサービスの合計は、Twitter が
56.1%、LINE が 12.5%、Instagram が 3.2%、そ
の他が 28.2%となっている。このその他にはネ
ットゲームが含まれていると考えられる。

大阪の小 6 誘拐事件もネットゲームをきっかけ
として、その後 Twitter でやり取りして誘い出さ
れている。本調査でも高校生が高校生以外とネ

ット上で出会うサービス Twitter やその他(ネッ
トゲーム等)となっている実態が明らかとなっ
た。

表 5: 神奈調 18 の「同じ学校の高校生」と「大学生・社
会人」と出会ったネットサービス比較

	同じ学校の高校生	大学生・社会人
Twitter	34.3%	56.1%
LINE	53.7%	12.5%
Instagram	8.8%	3.2%
その他	3.2%	28.2%

5. 考察と課題

本調査の結果から、同じ学校の高校生は LINE
経由で、別の学校の高校生や大学生、社会人な
ど日常生活の外にいる人とは Twitter やその他の
サービスがきっかけとなって出会っているとい
う実態が明らかとなった。大半が高校生同士
の出会いではあるものの、社会人や大学生との
出会いも確認できた。

神奈調 18 では出会いのサービスの選択肢にネ
ットゲームが入っていなかったが、19 年度実施
の調査では追加している。こちらも分析を進め、
出会いの実態を明らかにしたい。また、未成年
が日常的に利用するネットサービス全般を対象
に調査を続け、リスクの洗い出しと対応策の提
案を継続していきたい。

6. 謝辞

RIS 調 18 と RIS 調 19 は株式会社スポーツ・イ
ンフォマ・ジャパンの協力により RISTEX の予算
にて実施、神奈調 18 は神奈川県教育委員会、神
奈川県警察本部、LINE 株式会社の協力より実施
しました。文末になります感謝申し上げます。

7. 引用文献

[朝日新聞 2019] 朝日新聞「小 6 女児、靴下姿で交番に 誘拐
容疑で 3 5 歳男を逮捕。」, 2019 年 11 月 23 日。

[警察庁 2019] 警察庁少年課, 「平成 30 年における SNS に起
因する被害児童の現状」, 2019.

[警察庁 2019-a] 警察庁, 「インターネットと子ども達」,
https://www.keishicho.metro.tokyo.jp/kurashi/higai/kodomo/survey_h26.html, 2019

[LINE 2019] LINE 株式会社, 「青少年のネット利用実態把握
を目的とした調査 平成 30 年度最終報告書」,
<https://linecorp.com/ja/csr/newslist/ja/2019/205>, 2019

【文末脚注】

*注 1 本調査におけるアンケートは紙へ記述後に静岡塚ら封入封
緘した上で、学校単位でとりまとめて専門業者に配送し、デー
タ化をした

*注 2 2019 年に実施したアンケート調査では、選択肢にネッ
トゲームを追加した。その結果、その他の大半がネットゲーム
であることが判明した。こちらは別途分析が終わり次第発表す
る予定である、